

散乱スピード

◆散乱ごみに関する調査概要

散乱ごみ発生量の把握は、混雑の中では困難を極めます。今回は、試行的に、一定時間、一定のエリアに、どの程度の散乱ごみ（ごみ箱やその周辺に捨てられず、道や道端などに捨てられたごみ）が発生するのかを把握するため、次のような調査を実施しました。

●実施日：2012年7月16日夜

●実施場所：烏丸通（四条通～仏光寺通の間の2筋分）

※この間で、屋台が立ち並ぶエリアとないエリアがありました。

●実施方法：20:45～21:15の間に、このエリアの散乱ごみを全て除去し、その約1時間経過後の21:45～22:15の間に、散乱したごみを全て拾い、計量しました。

※ただし、この間に、他にもごみを拾い歩きしている人をみかけたため、実際には、本結果よりも多いはずであり、参考値とします。



◆散乱量と傾向

約1時間のこのエリアの散乱ごみの概要を次の表に示します。これによると、合計で7.6kgが捨てられており、特に植え込みに多かったことがわかります。これは、飲食スペースなどがほとんどないため、植え込み近くに座り込み飲食等を行い、近くにごみ箱も見当たらないため、そのまま放置していったケースなどが多いためと考えられました。



表 烏丸通（四条通～仏光寺通の間の2筋分）にて約1時間に散乱したごみの量（kg）

	ペットボトル、缶	その他	合計
歩道	0.8	1	1.8
車道	0.1	0.9	1
植え込み	1.8	3	4.8
合計	2.7	4.9	7.6